

若手育成・国際化のための支援プログラム

問い合わせ先：

GCOE の new-QI スクールのページ、

GCOE 企画室

川又政征(new-QI スクール担当)

<http://www.ecei.tohoku.ac.jp/gcoe/ja/activities/qi.html>

[gcoe-kikaku@ecei.tohoku.ac.jp](mailto:gcoe-kikaku@ecei.tohoku.ac.jp)

[kawamata@ecei.tohoku.ac.jp](mailto:kawamata@ecei.tohoku.ac.jp)

区分	名称	内容	対象者	応募締切り	備考	
1	若手育成・ 進学促進	特別研究員 (リサーチ・アシ スタント, RA)	東北大学非常勤職員として雇用 し, グローバル COE の事業を推 進させ, 後期課程学生の支援.	電気・情報系博士課程後期3年 の課程の学生(1~3年次および それ以降の年次も含む. 社会人 入学学生, 日本学術振興会特別 研究員, 国費外国人留学生は除 く.	春季(3月末)と 秋季(9月末)	業績と研究計画 に応じて給与と して9万円~1 2万円/月を支 給.
		博士前期課程2年 生を対象とした若 手育成プログラム (jRA)	博士後期課程へ進学促進を図る ため前期課程2年生を研究補助 者として特別雇用し, 1年間の 授業料相当を支援.	博士後期課程へ進学を希望する 前期課程2年生	春季(4月)と秋 季(10月)	1年間の授業料 相当(約54万円) を支援.
3*	若手育成・ 国際化 (日本から 海外へ)	海外渡航支援	国際会議にて発表するための旅 費と登録料を支援する	RA, 博士後期課程留学生(国費 と私費を含む)(学振特別研究員 と国際高等研究教育機構研究教 育院生を除く)	4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 1月 の末日に受付	一週間程度の国 際会議発表のた めの渡航費と登 録料を支給. 1件 30万円程度. 年間15名程度.
4*		海外短期研修プロ グラム	海外での研究(共同研究への参 加・実施, 大学・企業・研究所 の訪問と討論など, 海外でのセ ミナー・講習会への出席(GCOE の研究テーマに関わる講習会へ の参加など), 海外におけるイン ターンシップに対して渡航費と 宿泊費等を支給する.	電気・情報系の若手研究者(博 士後期課程へ進学希望の前期2 年次学生, 博士課程後期3年の 課程学生(ただし社会人学生は 除く), ポスドク, 助教, 講師, 准教授).	随時受付	原則2週間~4 週間程度の短期 間の研修を支援. 渡航費, 宿泊費, 日当を支援. 年間8名程度.
5*		スーパーインター ンシップ (海外長期研修)	若手研究者を他大学, 産業界, 独立法人研究所, 海外研究機関 等へ派遣し, 共同研究や研修を 通した武者修業を奨励する.	電気・情報系 若手研究者.(若 手研究者とは, 博士課程後期3 年の課程に所属する学生, ポス ドク, ならびに助教, 講師, 准 教授).	随時受付	1ヶ月~6ヶ月 程度の共同研究 や研修に支援. 旅 費, 宿泊費, 日当 を支給. 年間5名程度.
6*	国際化・国 際交流 (海外から 日本へ)	海外大学RA	海外大学の博士後期課程学生を GCOE-RAとして招聘し, NT/IT融合教育研究センター における共同研究を行い, 本C OEの国際拠点化を図る.	電気・情報系の教員と共同研究 を行っている協定校の海外研究 者の指導する博士後期課程学 生.	随時受付	特別研究員に準 じた雇用費, 往復 分の交通費を支 援. 受入期間最長 6ヶ月. 年間5名 程度.
7*		海外若手研究者招 聘プログラム	海外の大学・研究機関等に所属 する若手研究者を招聘し, 共同 研究, 研究討論等を行い, GCOE の事業を一層推進する.	電気・情報系の教員と共同研究 を行っている海外若手研究者 (協定校である必要はない). (東北大学の客員教職員として 受け入れる場合を除く.)	随時受付	招聘期間は数ヶ 月以内程度とし, 実質的な旅費と 宿泊費を支給. 年間5名程度.

\*3から7のプログラムについては、予算が消化された時に募集を締め切ることがある。